

週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 2 年 12 月 1 日



豊中ロータリークラブ

第 2904 回例会

第 2487 号

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2020～21 年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク
(ロータリーは機会の扉を開く)

Rotary



2020.7～2021.6

会 長 岩本洋子
副 会 長 小川佳伸
幹 事 宮田幹二
雑誌・広報・会報委員長
吉川秀樹

本日 (12 月 1 日) のプログラム 次回 (12 月 8 日) のプログラム

「介護老人保健施設」

「ロードバイクで走りましょう！」

卓話担当：真下 節

卓話担当：小川 佳伸

☆会長の時間☆

「スクールロイヤーの必要性」

2020-21 年度 会長 岩本洋子

新聞を見ると、どこかの中学校でいじめが原因で生徒さんが自殺したとか、自分の子供が学校でいじめにあっていると教師に相談したのに、適切な対応がされずに、結局、自殺してしまったとか、そんな新聞記事がいつも載っています。

自分の中学校の頃を思い返しても、昔はそんなことはなかったように思うのですが、今はしょっちゅう起こっているようです。

ああいう記事を見ると、いじめの相談が学校にあった時に、すぐに学校が弁護士に相談してくれていたら、自殺にまで至らなかったのに、と思います。

学校というのは、いじめだけでなく、クレイマー・ペアレントとかモンスター・ペアレントとかセクハラやらパワハラやら実に色々な問題が発生する現場なのに、その解決能力は実に低いように思います。そんな時に弁護士に相談し、いち早く外部の第三者委員会に調査を頼んでくれると問題は大きくなりません。

私も時々、学校のトラブルで呼ばれるのですが、それはすべて私立学校でして、公立学校は教育委員会や市役所が調査や解決の対応をしています。

しかし、教育委員会や市役所に調査能力も問題解決力もあるようにみえません。

最近、スクールロイヤー、教育現場に法律の対応をする人が求められていると思います。

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より

事 務 局：10 時～16 時(土日祝を除く)

H P ア ド レ ス：www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/

メー ル ア ド レ ス：jtrc2660@sun-inet.or.jp

例会出席報告☆

	第2903回	第2900回
例会日	11月19日	10月27日
① 会員数 A	38	38
(内出席免除者)	7	7
② 出席義務者数	31	31
③ 出席義務者出席数	22	24
④ 出席免除者出席数	4	5
⑤ メイクアップ数		2
⑥ 出席義務者欠席数	9	7
出席率 %	74.29%	86.11%

出席率(2903回) = ③+④/②+④ 出席率(2900回) = ③+④+⑤/②+④

幹事報告

- ・国際ロータリー第2660地区より
「国際大会(台北)についてのご連絡」が届きました。
- ・〈公財〉ロータリー米山記念奨学会より
「第30回米山功労クラブの表彰状」が届きました。

掲示板

第6回定例理事会

日時: 12月1日(火) 本日
場所: ホテルアイボリー例会会場前

地区大会

日時: 12月12日(土)
会長・幹事会 12:30~13:45
本会議 13:30~17:30
場所: グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)

年末家族会

日時: 12月19日(土)
場所: ホテル阪急インターナショナル
大阪府大阪市北区茶屋町19-19 TEL: 06-6377-3626

新年互例会

日時: 2021年1月9日(土)
17:30受付 18:00~例会 18:30~新年互例会
場所: ベルクラシック空港
池田市空港1-12-8 TEL: 06-6857-1200

職業奉仕フォーラム

日時: 2021年1月26日(火)
場所: ホテルアイボリー例会会場

◎副幹事・副SAA当番◎

12月副幹事 松本 拓朗 会員
12月副SAA 原 和永 会員

12月のお祝い

入会記念日

豊島了雄会員 H. 5.12.7

会員誕生日

田中正一会員 S. 9.12.12
米田 眞会員 S.18.12.18
畑田耕一会員 S. 9.12.15

結婚記念日

村司辰朗会員 S.55.12.13
矢口正登会員 S.55.12.13
眞下 節会員 S.48.12.21

ご夫人誕生日

澤木政光会員 妙子夫人 12.15
豊島了雄会員 幸代夫人 12.22
森本博明会員 香世夫人 12.8
松尾宗好会員 幸子夫人 12.31
都井正剛会員 知子夫人 12.26

11月24日のゲストとビジター

- ・豊中警察署生活安全課長 宮下典久様
- ・豊中警察署生活安全係長 藤井一宏様
- ・Li Jiyao さん 豊中 RC 奨学生

11月24日のニコニコ箱報告

- ・誕生日祝いを頂いて 今川会員
- ・家族会ご参加有難うございました。
宮田会員
- ・佐川美術館楽しませていただきました。
都井会員
- ・ポールハリスフェローを頂いて
佐川、北村各会員
- ・写真を頂いて
村司、北村、武枝、小牧、宮田各会員
- ・欠席のお詫び 横田、眞下各会員

社会奉仕委員会より
先日、皆様にお願ひ致しました。国連支援募金
「ダメ、ゼッタイ」に23,000円の募金をする
ことができました。心よ
りお礼申し上げます。

社会奉仕委員長 原 和永

☆12月受付当番☆

チーフ: 村司辰朗会員
12月1日 豊島了雄会員、矢野 昭会員
12月8日 谷野桂子会員、小牧義昭会員

「詐欺に遭わないために」

豊中警察署生活安全課長 宮下典久様



卓話担当：福盛康友

1.はじめに

本日もご臨席の皆様におかれましては、多方面にわたる幅広い奉仕活動を展開されるとともに、平素から警察行政の各般にわたりまして、格別のご高配とご協力を賜り、この場をお借りしまして、心よりお礼申し上げます。

さて本日は、後ほど警察本部生活安全指導班の制作による特殊詐欺被害防止についてのDVDをご覧になっていただきますが、折角の機会ですので、現在の犯罪情勢について、簡単にご説明いたします。

犯罪の発生ですが、刑法犯全体としては、全体的に減少傾向にあります。

全国の刑法犯認知件数は、平成14年の約285万3,700件をピークに、以降減少し続け、令和元年は約74万8,600件と、ピーク時の4分の1近くまで減少しています。

大阪府下における刑法犯認知件数についても、平成13年の約32万7,300件をピークに減少傾向を維持しており、昨年は約8万4,700件と、これも同様に、ピーク時の4分の1近くまで減少しています。

さらに、本年10月末現在の大阪府下における刑法犯認知件数は、約5万7,000件で、そのピーク時の4分の1ほどであった昨年の同時期に比べまして、約1万4,500件（約20%）減少しています。

豊中市においても、本年10月末の刑法犯認知件数は、約1,600件であり、大阪府下と同様に、昨年の同時期と比べて、約400件（約20%）減少しており、着実に改善の方向に向かっていきます。

犯罪の認知件数が減少傾向を維持しているということについては、いろいろな要因が複合的に重なっているものと思いますが、中でも、防犯カメラの普及が大きな要因の一つになっていることは間違いのないと思います。

特に、一昔前には大阪名物とも言われました、街頭犯罪の代表格である「ひったくり」などは、その発生が減少しています。

大阪府下で最も「ひったくり」が発生した年は、年間1万件を超えましたが、昨年は1年間で254件の発生でしたし、今年の10月末現在では、136件の発生で昨年の同時期に比べて90件（約40%）減少しています。いかに「ひったくり」が減少したか解っていただけたと思います。このことは、大阪だけでなく、全国共通の傾向です。つまり、全国的にも防犯カメラの普及により「ひったくり」をはじめとする街頭犯罪が減少していると思われまます。

豊中市においても、街頭犯罪等の予防及び各種犯罪の早期解決に資することを目的として、小学校の通学路を中心に、市内の要所に計1,230台の「見守りカメラ」が設置され、運用していただいております。

先にも申し上げた通り、豊中市においても刑法犯認知件数は減少傾向を維持しており、「見守りカメラ」は各種犯罪抑止に十分な効果を上げているものと思います。

昨年、お隣の吹田市において発生しました警察官襲撃・拳銃奪取事件においては、防犯カメラが、その犯人特定と早期逮捕に大きく貢献したことは、皆様記憶に新しいことと思います。今や防犯カメラは、犯罪抑止と犯罪捜査の両面にわたり、極めて有効なものとして、なくてはならないツールとなっています。

刑法犯全体としては減少傾向を維持しているところ、高齢者等を狙ったオレオレ詐欺や還付金詐欺をはじめとする特殊詐欺の被害も、過去最多の発生を見ました昨年と比べると、今年はかなり減少しています。昨年は大阪府下、豊中市、豊中署管内、いずれも過去最多の認知件数でありました。過去最多の発生をみました昨年、豊中署は65警察署中、最も多く特殊詐欺被害が発生し、市町村別でも豊中市は、政令市の一つである堺市を抑えて、大阪市に次ぐ2番目の発生件数でした。

大阪府下の本年10月末現在の特殊詐欺の認知件数は920件で、昨年同時期の1,555件に比べると、635件(40.8%)減少しています。豊中市における本年10月末現在の特殊詐欺の認知件数は55件で、昨年同時期の134件に比べると、79件(59%)減少しています。

本年10月末現在の大阪府下の特殊詐欺による被害金額は約18億8,400万円で、昨年同時期に比べると、約2億9,000万円減少しています。同様に、豊中市の特殊詐欺による10月末現在の被害金額は約1億200万円で、昨年同時期に比べると、約8千万円減少しています。

本年10月末現在の警察署別では、豊中署管内の特殊詐欺の認知件数は、65警察署中、高槻署、枚方署に次ぐ3番目で、市区町村別では、豊中市における特殊詐欺の認知件数は、大阪市、堺市、枚方市に次ぐ4番目になります。

過去最多を記録しました昨年と比べると、今年は確かに減少しているものの、いわゆる「アポ電」と呼ばれる騙しの電話は毎日のようにかかっていますし、依然として特殊詐欺の被害は後を絶たず、高齢者等の大切な老後の資産が奪われ続けている状態です。

特殊詐欺とは、対面することなく、電話その他の通信手段を用いて被害者を騙して、お金などの財物を交付させるといった手口の詐欺のことを言います。

今年、当署管内において発生しました特殊詐欺の主な手口を2つ紹介します。

2. 一つ目は、キャッシュカード手交型の預貯金詐欺です。

これは、警察官を騙る者から電話があり、「あなたのキャッシュカードが悪用されています。古いカードは使用できないので回収します。銀行協会の者を行かせますので、その者にキャッシュカードを預けてください。また、手続きに必要なので暗証番号を教えてください。」などと言って、暗証番号を聞き出したうえ、家を訪問した者がキャッシュカードを手渡しで騙し取った後、預貯金口座から現金を引き出して奪うという手口です。今年は、家を訪問した犯人がキャッシュカードを預かる際、キャッシュカードの磁気情報に影響が出ない部分をハサミで少し切り込みを入れて「これでカードを使えなくしました。」と言い、被害者を安心させてカードを騙し取る手口が横行しました。

警察官や銀行関係者などがキャッシュカードを預かったり、その暗証番号を尋ねたりすることはありません。

キャッシュカードを求めたり、暗証番号を尋ねてきたりする電話はすべて詐欺ですので、気を付けてください。

3. 2つ目は、ATM誘導型の還付金詐欺です。

これは、市役所の職員を騙る者から電話があり、「過払いの保険金や、医療費の還付金があります。今日中にATMで手続きすれば戻ってきます。」などと嘘を言って、被害者をATMに誘導した上、電話で指示しながらATMを操作させ、意のままに犯人グループが管理する口座にお金を振り込ませて騙し取るという手口です。

市役所の職員が、還付金がありますなどと、個別に電話をかけてくることはありません。

ATMで還付金が戻ってくることは、絶対にありません。

電話で還付金の話が出れば、それは詐欺とと思ってください。

上記2つの特殊詐欺以外にも、オレオレ詐欺や、架空料金請求詐欺といった特殊詐欺も発生しています。

これから、年末にかけて色々な特殊詐欺が発生する可能性があります。わからなければ信頼できる誰かに相談してください。皆様におかれましてはくれぐれも気をつけていただきますようお願い致します。